

Event Schedule

9 September

| | |
|----------|--|
| 9月13日(金) | 後学期授業開始 [教] SPI3対策講座9・10月コース説明会 [就] |
| 9月16日(月) | 敬老の日は通常どおり授業を実施 [教] |
| 9月19日(木) | 第2回総合就職ガイダンス [就] 自己分析・エントリーシート作成ガイダンス [就] |
| 9月23日(月) | 秋分の日は通常どおり授業を実施 [教] |
| 9月26日(木) | 会社四季報を使いたい会社の選び方ガイダンス [就] 業界研究ガイダンス(入門編) [就] 定期無料法律相談会 [研] |
| 9月28日(土) | (1・2年生のための)進路適性検査 [就] (1・2年生のための)就職ガイダンス [就] (含・進路適性検査フォローアップセミナー) |
| 9月30日(月) | 後学期開講科目履修登録締切 [教] 業界・企業・職種研究セミナー① [就] 業界・企業・職種研究セミナー② [就] |
| 9月~10月 | SPI3対策講座(9・10月コース) [就] |

10 October

| | |
|----------------------|---|
| 10月3日(木) | エントリーシート攻略テスト [就] R-CAP(自己診断テスト) [就] |
| 10月7日(月) | 業界・企業・職種研究セミナー③ [就] 業界・企業・職種研究セミナー④ [就] |
| 10月7日(月) ~22日(火) | 各種公務員業務説明会 [就] |
| 10月14日(月) | 体育の日は通常どおり授業を実施 [教] |
| 10月15日(火) ~16日(水) | 後学期開講科目登録中止期間 [教] |
| 10月16日(水) | 未内定者のためのフォローアップセミナー(全学部合同) [就] |
| 10月17日(木) | 元人事担当者による特別講演 [就] 就活SNSガイダンス [就] |
| 10月19日(土) | 第36回 法律討論会(於 10号館1011講堂) [研] キャリア教育講座 [就] |
| 10月21日(月) | 業界・企業・職種研究セミナー⑤ [就] 業界・企業・職種研究セミナー⑥ [就] |
| 10月23日(水) | 日経講座「ビジネスの基本」① [就] 日経講座「ビジネスの基本」② [就] 業界研究ガイダンス(信用金庫業界) [就] |
| 10月24日(木) | 日経講座「ビジネスの基本」③ [就] 日経講座「ビジネスの基本」④ [就] |
| 10月26日(土) | 定期無料法律相談会 [研] |
| 10月29日(火) | SPI3対策テスト(第2回) [就] |
| 10月30日(水) | 日経講座「ビジネスの基本」⑤ [就] |
| 10月上旬 | 社会保険労務士講座説明会 [工] |
| 10月上旬 ~11月下旬 | 内定者による活動報告&相談会 [就] |
| 10月中旬 | 平成26年3月卒業及び留年に関する手続期間 (4年次生対象) [教] |
| 10月中旬 ~11月中旬 | ゼミナール説明会・公開ゼミナール(2年次生対象) [教] |

11 November

| | |
|--------------------|--|
| 11月1日(金) | 第34回法桜祭準備日(休講) [学] |
| 11月2日(土) ~4日(月) | 第34回法桜祭(休講) [学] |
| 11月5日(火) | 第34回法桜祭後片付け(休講) [学] エントリーシート攻略テストフォローガイダンス [就] |
| 11月7日(木) | R-CAP(自己診断テスト)フォローガイダンス [就] |
| 11月8日(金) | 読売新聞「日本語検定」(文部科学省後援) [就] 自己表現力向上ガイダンス(校友会共催) [就] 業界研究ガイダンス(応用編その1) [就] |
| 11月14日(木) | 巡回無料法律相談会(於 高崎市) [研] 面接対策ガイダンス [就] 業界研究ガイダンス(応用編その2) [就] |
| 11月17日(日) | 勤労感謝の日は通常どおり授業を実施 [教] |
| 11月21日(木) | 公開模擬面接 [就] 業界研究ガイダンス(応用編その3) [就] |
| 11月23日(土) | キャリア教育講座 [就] |
| 11月28日(木) | SPI3WEBテスト説明会 [就] ゼミナール入室申込期間(2年次生対象) [教] リクナビ講習会 [就] マイナビ講習会 [就] |
| 11月上旬 | ゼミナール入室試験(筆記)(2年次生対象) [教] |
| 11月中旬 | ゼミナール入室試験(口述)(2年次生対象) [教] |
| 11月下旬 ~12月上旬 | ゼミナール入室試験(口述)(2年次生対象) [教] |

12 December

| | |
|---------------------|--|
| 12月1日(日) ~20日(金) | 企業研究セミナー [就] |
| 12月7日(土) | OB・OG就職相談会(校友会共催) [就] |
| 12月11日(水) | 未内定者のためのフォローアップセミナー(全学部合同) [就] |
| 12月14日(土) | 定期無料法律相談会 [研] |
| 12月23日(月) | 天皇誕生日は通常どおり授業を実施 [教] |
| 12月25日(水) | 後学期授業終了 [教] |
| 12月26日(木) | 補講期間 [教] |
| 12月上旬 | クリスマスイルミネーション点灯式(予定) [学] グループディスカッション講座 [就] |
| 12月下旬 | 業界別個人模擬面接 [就] |

各項目についての不明点等は、各担当部署にお問い合わせください。
また、略字は次の通り。
[教] 教務課 [学] 学生課 [研] 研究事務課
[工] エクステンションセンター [就] 就職指導課
※日時や詳細が決まり次第、掲示板およびホームページにてお知らせします。

日本大学法学部

Journal Vol.10

法桜祭白書2013



www.law.nihon-u.ac.jp/

Journal Vol.10

2013年9月21日発行 日本大学法学部広報 通巻118号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会

法桜祭白書2013

今年で34回を迎える日本大学法学部の学園祭「法桜祭」。他大学や他学部の学園祭とはひと味違うと評判の、法桜祭の特長・魅力を6つのキーワードで案内します。



第33回法桜祭(2012年)実績

- 3日間総入場者数 7,000人
- 参加団体 41団体

01 伝統

先輩たちの伝統を受け継ぎながら
自分たちの「色」をだす

- 前実行委員長 小野 康太郎(政治経済学科 4年)
前副委員長 望月 孝太(公共政策学科 4年)
前副委員長 齊藤 慶二(法律学科 4年)



写真左から
望月さん: 表の副委員長として企画・広報・芸能各局のほか、DIYブロックを管轄。「まず自分自身が楽しむことをモットーに3年間活動しました」
小野さん: 第33回法桜祭実行委員長として「運営協議会でのプレゼンでは緊張の連続でしたが、ほかのサークルに入っていた「トクをした」と思っています」
齊藤さん: 裏の副委員長として渉外局など裏方たちを支える。「1年は企画局、2年は渉外局を経験。実行委員での経験は就活にも役立ちました」

■ 街頭パレード

毎年オープニングを飾るフェニックスパレードは、初期の頃から続いている法桜祭の看板企画です。去年はパレード参加人数も約100名と過去最大でした。東京のど真ん中、というロケーションならではの企画だと思いますし、街頭で毎年楽しみに待ってくださっている町内の方もいます。パレードコースを警察の方と相談して決めていくのですが、地域や警察の方に法学部生が信頼されているからこそ実現してきたパレードなので、先輩方に感謝しますし自分たちの代でも信頼をそこなないように心がけました。



パレードの様子

■ 専任の法桜祭実行委員

他のサークルに属しながら有志が一定期間実行委員を務めるというのが一般的だと思いますが、法学部では法桜祭の実行委員は専任で、会社のように組織だって運営しています。専任なので学園祭に集中できるため、完成度の高い企画やきめ細やかな運営ができ、参加団体といふ緊張感をもった関係が築けていると思います。今では8局170名という大きな組織ですが、当初は委員も10名くらいだったと聞いています。「局」も年によって増えたり合併したりを繰り返しながら進化しているのも特長です。

■ 教職員の強力サポート

基本的には学生が主体の法桜祭ですが、僕たち三役、各局長と「学生生活委員会」の先生方で構成される「学部祭運営協議会」で、ひとつひとつの企画を精査し検討を重ねていくのも伝統のスタイルです。毎年、新体制が決まる12月からスタートして法桜祭までの約1年、委員長が中心

になって企画をプレゼンし、副委員長は企画担当者や相談して何度も企画書の手直し。教職員の方に叱咤激励されることも多々…。でも、教職員の方たちも実は法桜祭が大好きなんですよ(笑)。常に学生の強力なサポーターです。

■ 自分たちの代の「カラー」を

各ゼミナールが研究発表を行う「学生フォーラム」は、学園祭では珍しく学問を前面にだした伝統の企画です。そのほか、行列ができるほど大人気のお化け屋敷(幽霊講堂)などありますが、ただ、こうした名物企画に固執するのではなく、毎年中心になって活動する2、3年生の実行委員たちは、自分たちの代のカラーをだすことを大切にしています。また先輩たちも「後輩はどんなカラーをだしてくるのか」と楽しんで見守っているところがあり、それも法桜祭の自由な雰囲気を生み出している一因だと思います。

02 お化け屋敷

「来場者が主役になれる」人気企画
より安全により怖く、を追求して進化

- 前企画局 お化け屋敷ブロック 米山 慎一(法律学科 4年)
金子 エミ(法律学科 4年)



中心となって「幽霊講堂IV」を実行した米山さん(写真右)と、「段ボールを貼付けるなど、本番当日までは地味な作業が延々と続くので、行列ができる人気には本当に救われました」という金子さん

僕たちが2年生のときに開催したお化け屋敷は「幽霊講堂IV」で、4代前の先輩たちが創り上げたシリーズ企画です。お化け屋敷が他の企画と違うのは「来場者が主役になれる」という点だと思います。小さな子からお年寄りまで、みんなが怖がって楽しめる。オープンキャンパスに訪れた女子高生も多いのですが、泣いて途中でリタイアする人もいます。もちろん、ちゃんとマニュアルを用意してケアするようにしています。

2011年の東日本大震災の年、ちょうど「幽霊講堂IV」の企画プレゼンの日に震災が起こりました。どうすれば安全に開催できるか、そして教職員を説得できるか。お化け屋敷の通路をつくる3段組みの椅子に滑り止めを付ける、より頑丈な紐で椅子をつなぐなど工夫する一方で、もし余震が起こった場合の避難ルートを確認し、



幽霊講堂IV待合室(現2号館1階ロビー)
赤いセロハンで照明を工夫するなど、ゾッとする雰囲気を演出

「学部祭運営協議会」で実演して教職員を説得しました。それだけに、アンケートで「大学祭のお化け屋敷の中で一番!」「去年より怖かった」という声をいただいたときは達成感でいっぱいでした。これだけクオリティの高いお化け屋敷が無料で体験できるのは魅力だと思いますよ。



幽霊講堂IV看板

03 学生フォーラム

第1回法桜祭から継続している
ゼミナール発表の晴れ舞台

- フォーラム局 局長 徳光 由貴(公共政策学科 3年)
竹田 優美(公共政策学科 2年)
鈴木 里美(政治経済学科 1年)
伊東 恵(法律学科 1年)
高木 美季(政治経済学科 1年)

日本大学法学部の各ゼミナールが、ゼミの紹介や研究の成果を発表するのが「学生フォーラム」です。これは法桜祭の第1回からずっと続いている名物企画で、毎年30近いゼミナール団体が参加し、3日間を通して熱い研究発表が行われています。

お祭りや遊びの要素が多い学園祭で、こんなに真面目な研究発表が人気企画になっているのも法桜祭の特長だと思います。学生も先生方も、準備からの力の入れようは相当なもので、私たち委員もお手伝いをしながら、実は発表が聞けるのを密かに楽しみにしています。ゼミの

学生にとっては自分がこれまで研究してきたことを公の場で発表する晴れ舞台になりますし、学生や一般の方にとってはゼミがどんな研究をしているかを知る絶好のチャンスです。保護者の方であればわが子のゼミ活動を垣間見ることのできる貴重な機会になります。また、秋のオープンキャンパスも同時開催されているので、受験生にもぜひ気軽にのぞいていただきたいですね。法桜祭の公式パンフレットとは別に、フォーラム用のパンフレットもありますので、ぜひ参考にしてください。



局長の徳光さん(右から2人目)を囲んで、左端から鈴木さん、伊東さん、高木さん、竹田さん



フォーラムの様子

04 フェニックスコンテスト

PVの撮影からステージ設営まで すべて学生の手で行うミス・ミスターコン

2012年度ミス・フェニックス **板橋 美奈**(新聞学科 2年)
ミスター・フェニックス **加藤 優太**(経営法学科 3年)

どこの大学にもミス・ミスターコンはあると思いますが、日本大学法学部のミス・ミスターコン「フェニックスコンテスト」の一番の特長は、広報用のビデオ撮影から衣装、ステージ設営、ネット投票の管理、審査までのすべてを学生の手で行っていることだと思います。

参加して一番印象に残っているのは、「PV(プロモーションビデオ)の撮影。候補者によってコンセプトや撮影場所を変え、広報局の実行委員がカメラマンになって撮影したこと(加藤)「同じくPVの撮影とウェディングドレスなどの衣装合わせ」(板橋)。実行委員たちは撮影に先立ってあらかじめロケ地の下見までしていると聞いて驚きましたし、プロ意識を感じました。また、例年衣装協力してくださる株式会社一蔵さんへのお願いや打ち合わせも、すべて実行委員が行っています。大学規模で行うミス・ミス

ターコンに比べると、学部という小さな規模ではありますが、だからこそコストを抑えながら学生みんなで創り上げるのが魅力だと感じました。グランプリに選ばれて、何かが変わったというわけではありませんが、応援してくれた人のためにも、きちんとしなくては…という意識はいつも持つようになりました。



エピソードトーク中の写真
司会は法学部・商学部出身のお笑い芸人「がっつきたいか」さん



板橋さん(左)と加藤さん。「候補者10人はライバルというより仲のよい仲間。いまだにみんなで集まっています」



フェニックスコンテスト2012関係者集合
本館3階大講堂にて コンテスト終了後の一枚



練習風景

プロレスというと、がっちりした大きな男同士が“どつき合う”というイメージがあるかもしれませんが、今のプロレスは多様化しています。エンタメ系あり、スピーディな技を魅せることを目的にしたプロレスあり。NUWA(日本大学プロレス研究会)に入会してくるメンバーたちも、体の細い人がたくさんいます。

年間の行事の中で、やはり伝統となっているのが法桜祭での野外興行です。実行委員さんに図書館前に特設リングを作ってもらい、そこで3試合くらいを行います。この選手とこの選手をぶつけたら面白そうだなと、お客さんを盛り上げることができる対戦を企てるようにしています。僕が1年生の時には、4年生の大先輩とシングルマッチを行いました。特設リングは目立つので、地域の方も「なんだ、なんだ」と集まってくださり、

普段はプロレスに興味のない方も怖いもの見たさで(笑)。これを機会にプロレスを知ってもらえると嬉しいですし、さらに学生であれば入会を考えると嬉しいのもっと嬉しい。人の数だけ目指せるプロレスのカタチがあり、誰にでもできるスポーツです。何より学祭で目立つことができます。



特設リングでの試合風景



会長の石亀さんと練習中のメンバーたち。「ケガをしない、させないことが一番大事。受け身の技術を磨き、相手の技を引き立てるのもプロレスの技」

06 音楽ライブ

他の音楽サークルには負けられない! 多彩なバンドによる3日間の熱狂ライブ

ミュージック&レジャー(ML)

会長 **富田 遥翔**(法律学科 3年)
依田 賢一(法律学科 3年) 石堂 隼士(法律学科 3年)

MLはどこよりも「熱い」音楽サークルです。かっこつけるより全力で、声をがらがらにして汗だくで、観ている人に感情が伝わるライブを持ち味にしています。法桜祭は3年生にとっては重ねてきた練習の成果をだし尽くし、後輩たちにかっこいい姿を「見せつける」場なので、いつものライブ以上にエモーショナル。今年も、会長一押しのバンド「マイ・ブラッディ・ヴァレンタイン」ほか、観る側を盛り上げる楽しいライブをめざします。



会長の富田さん・ベース(中央)、飲み会系の石堂さん・ベース(左)、副会長の依田さん・ドラム(右)



練習風景

メンバー/約70名 活動/毎週火曜日 10時~20時 曲のジャンル/ロックを中心に幅広く サークルの特長/レジャー係がいて遊びも大切に。3音連など合同ライブも積極的。初心者歓迎

フォークソング研究会(JFC)

会長 **鎌田 省吾**(政治経済学科 3年)
宇都宮 裕規(公共政策学科 3年) 高村 卓(公共政策学科 4年)
小塚 康太(政治経済学科 4年)

日本大学法学部の音楽サークルの中で一番長い歴史をもっています。僕たちの代で43代。毎年、OBの同窓会に現役生も参加させていただき、法桜祭にはOBの方にも演奏していただく枠があります。フォークソング研究会という名前がついていますが、時代に合わせて音楽のジャンルはシフトしていて、今はJロックもメタルバンドも幅広く演奏しています。法桜祭の会場には毎年OBからのお花が飾ってあるので、目印にしてください!



ライブ風景



写真右から鎌田さん・ギター、高村さん・ドラム、小塚さん・ドラム、宇都宮さん・ギター

メンバー/約50名 活動/毎週水曜日 10時~20時 曲のジャンル/時代のメジャーシーンの音楽。持ち曲はDOES、セックスマシガンズなど サークルの特長/コピーだけでなくオリジナルも。AR、ロック&ブルースと合同ライブ

II部フォーク音楽愛好会(FSC)

会長 **宇田川 裕哉**(法律学科 3年)

サークルの色をひと言でいえば「のんびり」。土曜日が活動日なのでII部の学生が気軽に入れるのも特長です。軽音という怖いイメージがあるけど、全然怖くない(笑)。喧嘩やめ事も全くありません。ほとんどが初心者で演奏が飛び抜けて上手な人もいない分、先輩が後輩の面倒をみて、教えて、合わせる楽しさを大事にしています。でもライブになったらやる時はやる!。今年は1年生が15人入って活気づいています。



ライブ会場にて



会長の宇田川さん・ギター

メンバー/35名 活動/毎週土曜日 9時~18時 曲のジャンル/ロックを中心にいろいろ。持ち曲はローカル・サウンド・スタイルやアジカンなど サークルの特長/夏合宿は長野県のスタジオ付きホテルで

ARミュージックステーション

会長 **山田 聖奈**(新聞学科 3年)
藤井 健太(公共政策学科 3年) 塩入 奏(法律学科 2年)

ジャンルの的にはメタルやハードロック系が多くて、メンバーはみんな「あまり簡単な曲が好きじゃない」。少数精鋭という聞こえがいいですけど、個性的な人が多くてみんな好きなことをやっています。そういう意味で自由。目立ちたがりの人が多いので、法桜祭では私たちのサークルだけ「花道」を作り、みんな前へでてきてスポットライトを浴びて弾いています。練習熱心な人が多いから、初心者もあつという間に上達します。



合宿の様子

写真左から山田さん・ギター、藤井さん・ドラム、塩入さん・ギター

メンバー/約50名 活動/毎週水曜日 10時~20時 曲のジャンル/メタル、ハードロックなど。持ち曲はメタリカの「マスターオブバベッツ」など サークルの特長/ARはオールラウンドの略。3音連、6音連の合同ライブ

法桜祭白書2013 実行委員の組織力

総勢170名の実行委員一人ひとりが自分の「持ち場」で地道な仕事を

第34回 法桜祭実行委員長 征録 正也 (法律学科 3年)

——実行委員になったきっかけは？

土曜日が活動日なので、二部の自分でも入りやすいかなと思ったのがきっかけです。高校3年間野球部で文化祭にでたことがなかったので、学祭に憧れもありました。1、2年は渉外局で仕事をしました。

——活動じゃなくて仕事と呼ぶのはなぜ？

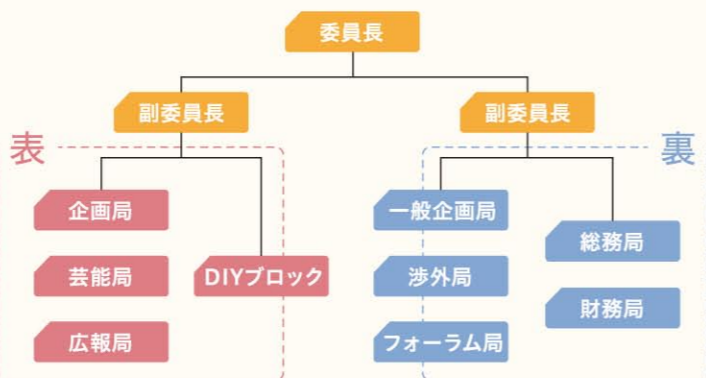
とくに意識していませんが、仕事という言葉を使う人が多いですね。大学を代表して活動しているという自負がありますし、責任を持ってやっているからだと思います。実際、委員長の下に「表」とよんでいる3つの局を束ねる副委員長と、「裏」とよんでいる5つの局を束ねる副委員長がいて、ひとつの会社組織のようになっています。

——委員長さんが苦労することは？

ほとんどないです(笑)。副委員長二人がしっかりしていますし、各局のメンバーも自分の局に誇りを持っている人が多く、持ち場、持ち場でやるべきことをしっかりやっている。外部の方から「いい組織ですね」と誉められることがあります。いい組織を作ろうと思ってやっているわけではなく、自分の局でやることを地道にやっていることの結果だと感じています。

——今年の法桜祭の見所は？

まずテーマの「Colorful」に注目して、祭りを彩る装飾や団体ごとの「色」を感じてほしいです。今年は新6号館が9月4日に竣工し、法桜祭の会場にもなりますから期待してください。今までとはひと味違った法桜祭をつくっていききたいと思いますので、3日間のうち1日だけでも足を運んでもらいたいと思います。



第33回(2012年)法桜祭の実行委員3号館階段前にて、法桜祭全日程終了後の写真

企画局

局長 中川 博之 (法律学科 3年)

主に大講堂、3号館、本館特設ステージなどで行う企画の考案、運営を行っています。どれも注目度が高い企画なので、ぎりぎりまで意見を交わしながら練り上げていくのが楽しい。企画局には「夢見がち」な人が多く、現実と折り合いをつけていく難しさはありますが、独創的な企画で来場者が楽しんで帰られるのを見たと報われます。今年も一般学生や地域の人を巻き込んだ楽しい企画を考案中なので期待してください。



芸能局

局長 多々良 美佳 (政治経済学科 3年)

法桜祭によぶゲストを選定し、仲介業者の方を通して交渉し、コンサートなどの企画・運営するのが大きな仕事です。高額なお金が動きますし、社会人と関わることも多いので、責任の重い仕事だと感じています。反面、当日はケータリングといって楽屋のお世話も担当するので、憧れのアーティストなどに間近で会えるという貴重な体験もできます。普段は授業で使う大講堂がコンサートなどで盛り上がる、その「非日常」感をぜひ味わってください。



広報局

局長 真砂 里奈 (政治経済学科 3年)

広報局には制作・Web・宣伝・広報企画・装飾・映像の6つの班があり、50名近くの局員が他局とは異なる専門的な活動をしています。幅広いですが、どの班も法桜祭をより多くの人に知ってもらいたいという思いが根本にあります。フリーペーパーやパンフレットなどの制作物の校閲では、朝方までLINE片手にパソコンに向かって修正することも。今年は公式サイトやSNS、階段アートなどの充実を試みます。徐々に増えていく校内外の広報活動にもぜひ注目してみてください。



フォーラム局

局長 徳光 由貴 (公共政策学科 3年)

法桜祭での学生フォーラムの運営が主な仕事です。毎年、まず参加する約30のゼミナールへの「フォーラム説明会」を開催し、時間や会場の調整などを行います。そして、フォーラム専用のパンフレット制作のための原稿には各ゼミ教授の判子を押してもらうなどして、レベルの高いものを目指します。法桜祭当日は3日間、受付と資料配布を行うのも私たちの仕事です。裏方の地味な仕事ですが、伝統企画をお手伝いできる喜びがあります。



一般企画局

局長 山田 麻友 (法律学科 3年)

模擬店や音楽ライブ、展示などに出展するサークルや団体が、法桜祭当日、快適に安全に行えるように支えるのが私たちの仕事です。模擬店にだす各メニューが決まると保健所へ行って許可をもらったり、当日は食堂に待機して衛生管理のチェックをしたり。食中毒など万一問題を起こすと今後、法桜祭ができなくなってしまうので、そこは厳しく目を光らせています。他に演舞会・プロレス興行や模擬店No.1決定戦の企画も行っていきます。



財務局

局長 中島 里沙 (法律学科 3年)

年に3回、各局からの予算調査を行い、要望書を作って大学側へ提出します。法桜祭に参加される団体さんへの補助金の仲介役、法桜祭の決算なども私たちの仕事です。各局の希望を聞きながら予算配分していく難しさはありますが、企画局であれば、予算を削ることで企画の質が下がらないように、担当者と直接話し合っ調整していく、そういった橋渡しの楽しさもあります。公平に、威圧的にならないように心がけています。



総務局

局長 田苗 秀城 (法律学科 3年)

備品の管理がメインの仕事です。法桜祭に向けて各局が使用する物を学生課から調達し、ないものは財務局と相談して購入します。備品は机や椅子から式典用のマイク、ときにはゲストの楽屋に必要な加湿器、帽子掛けといったものまで150種あります。当日まで黙々と書類作りの日々ですが、いざ初日となると午前7時には会場入り、一般の団体さんが入る10時までに全会場を法桜祭仕様に設置します。まさに汗だくでの肉体労働です。



渉外局

局長 小池 あずさ (経営法学科 3年)

企業に協賛のお願いにまわるのが主な仕事です。具体的には、企業へ電話をかけて依頼したり、地域のお店をまわって資料をお渡しし、協賛のお願いをします。1年生のとき、初めて依頼した会社から協賛をいただけて、それが今も続いているのは本当に嬉しいです。窓口で冷たく断られることも少なくなくて、心が傷つくこともありますが、言葉遣いや資料を工夫して乗りこえています。今年もお菓子やお化粧品サンプルなど無料で協賛品がもらえますよ！



実行委員に聞きました!

法桜祭2013 見どころガイド

登録委員長いわく、例年と「ひと味違う」を目指している今年の第34回法桜祭。
こんなところにも注目して見てほしい、という見どころを各局のメンバーに聞きました。

開催日:2013年11月2日(土)~11月4日(月・祝)

01 テーマはColorful

今年のテーマ"Colorful"には2つの意味がこめられています。1つは文字通り、色彩豊かな装飾で3日間の法桜祭を彩り、盛り上げたいという思い。もう1つは、参加するサークルや団体、そして一人ひとりの学生が「カラー」=「個性」を発揮できる法桜祭にしたいという思いです。
実はこの"Colorful"というテーマは、広告制作や装飾を担当するメンバーにとっては、意外と難しいテーマだそうです。色彩が多くなりすぎると統一感がなくなるので、デザイン力が問われます。広報局内のコンペで選ばれるColorfulのロゴやポスター、当日の会場の装飾にも注目してください。



昨年の装飾の様子

02

DIYの仕事に注目を

そろいのスタッフジャンパーを着た委員たちが、プロレスの屋外リングを設営する姿は、法桜祭の風物詩のひとつです。いわゆる大道具、小道具の仕事は、実行委員の中から寄せ集めの有志が担当していましたが、去年の第33回から"DIYブロック"委員として専任になりました(P5組織図参照)。それだけ大道具、小道具の安全や精度に力を入れています。メンバーは職人気質の人が多く、たとえば角材の角をきれいに削ってささくれないようにするなど、たかが学祭...と甘んじることなく精度をあげています。今年のDIYブロックには女性が多いので繊細な仕事ぶりにも注目を。



そろいのスタッフジャンパーで屋外の特設リングを設営する委員たち。限られた時間で、「絶対安全」を命題に。



DIYブロック委員のリーダーシップのもと、フェニックスコンテストの華、ランウェイを設営する委員たち。

03

新6号館も会場に

今年9月4日に竣工した新6号館が、法桜祭の会場に加わります。新6号館は、日本大学法学部が2014年に学部創設125周年を迎える、その記念事業のひとつとして建設されました。学生のサークル活動の空間として造られた新6号館にとって、法桜祭はまさに「こけら落とし」といえるイベント。ぜひ、みなさん期待して足を運んでください。
法桜祭実行委員の仕事場も3号館から新6号館へと引っ越ししました。各局長に椅子と机が用意され、全員で会議ができる広さ。この素晴らしい環境にふさわしい、立派な法桜祭に向けて一同がんばっています。



新6号館の外観

04

オープンキャンパス同時開催

法桜祭の行われている3日間のうち、11月2、3日(土、日)には、秋のオープンキャンパスが同時開催されます。在校生のみならず、妹さん、弟さんなど高校生や受験生の知り合いがいらっしゃる方はぜひ一緒にご来場ください。模擬店やおけけ屋敷などの企画だけでなく、法学部ならではのフォーラム発表(ゼミナール研究発表)や模擬裁判などのイベントも行われています。また、法学部が位置する三崎町周辺の地域の方々も来場され、都会でありながら「人情の街」の雰囲気を感じていただけたらと思います。大学の様々な顔を見るチャンスです。



去年の秋のオープンキャンパス 2号館前



2013法桜祭 公式ホームページ



2013法桜祭 公式twitter



2013法桜祭 公式facebook

実行委員アンケートより

■ 実行委員になったきっかけは?

- 友達に誘われて(法律3男子ほか)
- 人の役にたつのが好き(法律3男子)
- 裏方の仕事を見てみたい、やってみようと思ったため(公共政策2女子)
- 新入生歓迎会の雰囲気よかったから(経営法2女子ほか)
- 元々高校のときに文化祭の実行委員会に所属していたので(新聞3女子)
- 人数が多いから知り合いが増えそう(新聞2女子)
- 楽しそうだったから。達成感を味わいたかったから(政治経済1女子ほか)
- 人と接するのが好きだから(公共政策1男子)
- 他の学科の人と仲良くなりたかったから(新聞2女子)
- 何かひとつ大きな企画を成功させたかった(政治経済2男子)

■ 実行委員になってよかったこと

- 楽しい。毎週、ただただ楽しい(公共政策1女子)
- 様々な学科の友人ができたこと(新聞3女子ほか)
- 最高の仲間と出会えたこと(新聞3男子)
- 大変だけど、やり遂げた時の達成感がすごい!(経営法2女子ほか)
- 大学と密に関わることができた(経営法3女子ほか)
- 自分に自信がついた(経営法1女子)
- 書類作成や情報共有の仕方などが勉強になった(法律3男子ほか)

■ 苦労したこと、していること

- とにかく朝が早い!(新聞2女子ほか)
- 学生課と学生の板挟みに……(法律3女子)
- 日々プレッシャーと闘っています(法律3男子)
- 実行委員の名前と顔が覚えられない(公共政策1女子)
- 5日間朝は早く、夜は遅いこと(新聞2女子)

- メールやり取りが多いので、うまく連絡が取り合えない場合があり大変(公共政策3女子)
- 多人数をまとめること(新聞3女子ほか)
- 自分の理想を実現するのは大変(新聞3男子)
- 資料作成が大変(公共政策2女子ほか)

■ 自分自身の変化や成長

- 思いのほかタフになった(法律3男子ほか)
- 電話応対に自信がついた(経営法1女子ほか)
- 以前より責任感が増した(政治経済1女子)
- 日々成長しています(新聞3男子)
- 人前で話すのが若干得意になった(公共政策2女子)
- ちゃんと期限を守るようになった(新聞2女子)
- 協力することの大切さ、一人でやり遂げることの大事さ、どちらもわかるようになった(経営法2女子)

■ 私から「ひとことアピール」

- カラフルにいきたいです(法律2男子)
- 大学の学部祭を楽しまなきゃ損だと思います!(新聞2女子)
- 協賛品がタダでもらえるので、それ目当てでもぜひ!(経営法3女子)
- 1日丸々じゃなくても、ちょこっとでも来て下されば楽しさが伝わるとおもいます(法律3女子)
- 実行委員一同がんばっているの、ぜひ法桜祭にお越しください(政治経済3男子)
- せっかく入学した自分の大学の学部祭なので、一度足を運んでほしいです(法律3男子)
- 様々な企画があります。ほんと楽しいのでぜひ、いらしてください(公共政策2女子)
- 混雑している大学も見てみてください(笑)(経営法3女子)
- 普段と違う「非日常」を味わいに来てほしい(政治経済3女子)

就職内定者に聞く

世界で活躍する日本人になる その「思い」の力で挫折を乗り越えて

30社にエントリーシートを提出し、20社通過、最終面接まで進んだのが8社で、そのうち内定をいただいたのがパナソニックを含め6社です。

メーカーへの進路を決定づけたのは、2年間のアメリカ留学中にマーケティングを学ぶ中で、たとえばアップルやサムソンなどに比べて日本のメーカーは技術力が強みである反面、マーケティングの側面から分析すると弱いと感じたことです。80年代には黄金時代を築いていたのに、今は各国に遅れをとっている。日本人の一人として非常に悔しかったですね。将来は世界で活躍する日本人になりたいという夢を抱いていましたが、マーケティングとして、日本のメーカーの一員として力を発揮したいと思うようになりました。

実は留学までに大きな挫折がありました。大学の二年間で必死に勉強し、なんとか特待生と推薦状をいただき、親に頭を下げアルバイトをしてやっと留学が決まった、その矢先に留学エージェンシーが倒産。取めた授業料は戻って来ませんでした。ただ、やれることは全部やってから諦めようと思ひ、

メールや電話、そして渡米などを通して直接大学と交渉し、授業料を減額していただきました。担当者からは「最近の日本人はシャイなのに君はガッツがあるね」と言われましたが(笑)。振り返ってみると、「思い」の力が重要だと思います。どうしてもやりたい、成し遂げたいと思っていれば自然にそれが行動に表れて結果につながる。23年しか生きていないですけど、学んできたことはこれです。

内定企業/パナソニック

応募理由 / 技術力のあるメーカーをマーケティングの側面で支え、世界で活躍する日本人になる

就活で苦しかったこと / 就活ではないが留学エージェンシーが倒産したこと

先輩へアドバイス / マーケティングの先生から教わった言葉「there is no right way, there is no pure way」。だから行動してみるのみ、その先に未来が拓ける

残りの学生生活で / 中東へバックパック

Success Story Vol. 1



経営法学科 4年
萩原 裕也

Vol. 1 Message



経営法学科 1年
レゲツ・セバスチャン・ジョハネ

留学生に聞く

知識の丸暗記でなく「自分で考えて」 という教授の考え方が私に向いている

スイスの古都ベルンの出身です。幼いころ近所に日本人とのハーフの友だちがいて、よく家に遊びに行き、「みそ汁」を食べていました(笑)。日本食や日本文化に憧れて、日本に来て語学学校へ通ううち、やはり日本のことが気に入って日本大学法学部への入学を決めました。経営法学科を選んだのは、法律だけでなく、ビジネスの世界でも役立つ科目が多く設けられていたからです。

入学して4か月たちましたが、幅広い勉強ができて充実した時間を過ごせています。思った通り大学にはいろんな人がいて、とても楽しいです。この大学の気に入っているところは、教授の考え方が私に向いていることです。「知識の丸暗記だけではなく、自分で考えて、価値観をもちながら勉強してください」といつも強調していらっしゃいます。それが自分に向いています。たとえば持ち込み可能な試験も多く、それはとても進歩的な考え方だと思います。暗記した知識だけに頼るのではなく、自分の価値観をこめてレポートを書いたりするのは、いい勉強法だと思います。

図書館は立派で素晴らしいです。パソコン室は毎日利用しています。いまは漢字を覚えるのに時間がかかりますが、大学4年間で幅広い勉強をして、将来は日本でヨーロッパ系の会社へ就職しようと思っています。最初はホームステイしていましたが、いまは一人暮らしにチャレンジしています。日本料理の本を買って、レシピを見ながら自炊しています。

出身/スイス ベルン

留学の目的 / 日本で幅広い勉強をしたい。学生数も多く、それだけ刺激もある日本大学を選択

大学生活以外のチャレンジ / 一人暮らしをして自炊していること

日本の学生へ / 授業中に居眠りしている学生がいるけど、ヨーロッパではあり得ない。親のための勉強ではなく自分のために勉強してほしい

日本大学法学部の好きなところ / 教授の教え方、立派な図書館が素晴らしい

自ら考え行動し続けてきたことが 就職活動では評価されると思います

12月に企業セミナーが始まってからは、とにかく予約しては行き、予約しては行き。足で内定を取ったと言ってもいいくらい、多くのセミナーに足を運びました。父が証券マンだったこともあり、金融業に興味を持ち、実際にいろいろな業界の企業を訪問するうちに、金融業の中でも銀・信・証の業務の違いを理解し、今まで自分が研究してきた学生研究では問題解決に至らなかった部分まで、金融面から解決に至れる銀行に魅力を感じました。

私がPRしたことは、「大学受験」「アルバイト」「ゼミナール」の3つです。高校が進学校ではなかったため、まずは日本大学法学部に入るまでが大変(笑)。でも、そこで根性が身につきました。アルバイトも最初は居酒屋だったのを、せっかくなら将来の仕事に役立つものと思いクレジットカードの営業に変えました。今もずっと続けていますが、思っていた以上に勉強になりましたし、面接でも同じ金融業界の仕事ということで興味を持ってもらえることもありました。2年以上続けてきたことも評価されたと思います。

そして一番自信をもってPRできたのがゼミナールです。1年間チームで研究し、インカレ大会出場、優勝を目指すゼミに入り、知識・体力ともに鍛えられましたし、社会人にインタビューした経験などで視野が広がりました。ゼミの先生から「実務家と関わった研究は貴重だから、そこを磨きなさい」とアドバイスいただいたことも自信になりました。

内定企業/メガバンク

応募理由 / 金融業務を勉強する程に面白さや使命感を感じた

就活で苦しかったこと / エントリーシートだけで落とされたとき

先輩へアドバイス / 3年生はとにかく必死で頑張ってください。1、2年生なら逆算して自ら考え、行動して。SPI対策は必須

残りの学生生活で / FPの資格取得。社会人になってからはできないような旅

留学して受けた刺激は日本にいたときの 100倍といってもいいくらいです

2年生から3年生にかけて10か月間、北京大学法学部へ留学しました。もともと母が福建省の出身で、中学生のときから中国語は学んでいましたが、日本大学法学部へ入ってからHSK(中国政府公認の中国語資格)の最上級である6級を取得したことで、北京大学への留学という選択肢がみえてきました。どちらかというと、日本大学の選抜試験の中国語の方が難しかったですね。

北京大学での授業はすべて中国語で、中国の商法、憲法、外国法、ローマ法、知財法とひたすら勉強しました。中国の学生はほんとうに「ガリ勉」で、朝8時から夜10時まで食事以外の時間はずっと机に向かってるのが当たり前。女の子もおしゃれどころかメイクもしていません。最初はびっくりしましたが、それだけやっても弱肉強食の中国で生き残っていくのは難しい。だからみんな意識が高いなと思いました。私も留学する前は、1時間も机に座ってられないレベルだったのが、5時間6時間、時には10時間くらい向かっていても苦にならなくなりました。それは収穫でした。

北京の日本大使館でインターンを経験したことや、駐在員として活躍される弁護士の方など知り合えたことなど、大学生活以外にも充実した10か月間でした。留学して実際に受けた刺激は、日本にいたときの100倍といってもいいくらいです。その土地を1週間旅行するのと生活するのは全然違う。将来は法曹の立場で中国の都市開発や不動産に関わる仕事がしたいと思っています。

留学先/北京大学法学部

留学の目的 / 中国の法律を勉強し、将来の仕事に活かすため

大学生活以外の収穫 / 北京の日本大使館でインターンを経験したこと

先輩へアドバイス / 語学はまず単語量を増やすこと。量を増やしてから質を習得してほしい。習いたい言語の国の人と一緒にいる時間を増やすことも大切

留学をいかして / 中国で不動産や都市開発の仕事に関わるため、まずは宅建の勉強中



法律学科 3年
渡邊 芳子

法律学科 4年
田尻 綾奈